

豊橋市に関する自転車関連計画および施策一覧

参考資料 2

自転車関連施策（1 / 5）

	施策名称	団体・所属 部署名	関係団体	実施年度	概要	効果・実績	今後の方向性	事業費
1	とよはしエコ 通勤運動	豊橋市人事課	豊橋市環境政策課 豊橋市都市交通課	平成 22 年度～	<p>市職員が率先して、自動車やオートバイから、自転車、徒歩、公共交通機関など環境にやさしい通勤手段に転換することにより、次の効果をあげることが目的とするもの。</p> <p>①地域レベルでの地球温暖化防止に貢献 ②交通渋滞の緩和と公共交通機関の活性化に寄与 ③職員の健康増進</p> <p>エコ通勤への切り替えを推奨するための主な取組のうち、自転車に関連するものとして、以下の 3 点を実施</p> <p>(1) 通勤手当の見直し 通勤距離 8km 未満の区分について自家用車での通勤者の手当額を減額する一方、自転車通勤者の手当額を増額した。</p>	<p>職員全体で、平成 21 年 4 月時点では 18.9% (663 名/3,510 名) だったエコ通勤率が、24 年 4 月には 28.7% (993 名/3,461 名) まで上昇した。</p> <p>取組事項別効果としては、</p> <p>(1) 通勤手当総支給額について、変更前の手当額で算出した場合と比較したときの削減額 平成 22 年度 約 520 万円 平成 23 年度 約 450 万円</p>	継続	(1) 「職員手当等」内、「通勤手当」の一部
			豊橋市職員互助会	平成 22 年度～	<p>(2) エコ通勤報奨制度(豊橋市職員互助会の会員掛金のみで行う事業) 自動車・オートバイ通勤でない者、及び自転車通勤者であり、通勤距離が 2km 以上 8km 未満でない者に、月 500 円分の Q U O カードを支給。</p> <p>(3) 通勤用自転車購入補助制度(豊橋市職員互助会の会員掛金のみで行う事業) 通勤用自転車購入者に 10,000 円(電動の場合は 30,000 円)を上限として購入費用(付属品を含めない車両本体の 1.05)の 2 分の 1 を補助する。</p>	<p>(2) Q U O カード支給対象者 平成 22 年度 468 名 平成 23 年度 474 名 ※自動車・オートバイ通勤でない者も含む</p> <p>(3) 制度の申請者数 平成 22 年度 128 名 平成 23 年度 79 名</p>	継続	<p>(2) 合計 5,108 千円 平成 22 年度決算額 2,509 千円 平成 23 年度決算額 2,599 千円</p> <p>(3) 合計 2,546 千円 平成 22 年度決算額 1,659 千円 平成 23 年度決算額 887 千円</p> <p>※(2)、(3)とも豊橋市職員互助会の会員掛金のみを財源としている</p>
2	公用電動アシスト 自転車等の職員 への貸出し業務	豊橋市財産管理課	—	平成 22 年度～	職員の近距離の市内出張用に電動アシスト自転車及び普通の自転車を貸出している。	平成 23 年度 電動アシスト自転車利用台数 9.57 台/日	今後も本業務を継続予定	

自転車関連施策（2 / 5）

	施策名称	団体・所属 部署名	関係団体	実施年度	概要	効果・実績	今後の方向性	事業費
3	電動アシスト自転車 購入補助金	豊橋市温暖化 対策推進室	—	平成 22 年度～	通勤や買い物時における自動車利用から自転車利用 への切り替えを促進することで、温室効果ガスの排 出抑制を図り、地球温暖化対策を推進する。	補助台数 平成 22 年度 1,082 台 平成 23 年度 807 台	アンケート等により申請者 の自転車利用状況を調査し、 平成 25 年度以降の取り組み を検討する。	合計 28,241 千円 平成 22 年度 16,138 千円 平成 23 年度 12,103 千円
4	三人乗り自転車 貸出事業	豊橋市保育課	—	平成 22 年度～	市民に対し三人乗り自転車の貸出しを行い、保育園 及び幼稚園等への送迎手段の確保と交通安全の意識 高揚などを目的として、子育て支援の充実を図る。	平成 22 年度延べ利用者数 98 人 平成 23 年度延べ利用者数 126 人	事業自体は引き続き継続し ていくが、自転車の貸出・回 収については、委託化も視野 に入れ検討していく。	平成 22 年度 5,904 千円 平成 23 年度 2,280 千円
5	親子自転車 乗り方教室 (豊橋市交通児童館)	豊橋市子育て 支援課 ※実施は指定 管理者	—	平成 5 年度～ (児童館リニュー ーアル以降、それ 以前は不明)	毎月第 4 土曜日に、向山児童遊園にて年長児～小学 生を対象に自転車乗り方教室(定員 20 組)を実施す る。(雨天中止あり) 平成 23 年度まで対象年齢の上限を小学 1 年生まで にしていたが、24 年度より小学 6 年生までに拡大した。	自転車の安全な乗り方と交通ル ールを身につけてもらうことが できた。 実施回数・参加人数(延) 平成 22 年度 5 回 106 人 平成 23 年度 8 回 104 人	継続	指定管理料に含まため、この教 室のみでの事業費は算出不可
6	自転車安全指導 巡回教室	豊橋市安全生 活課	—	平成 6 年度～	自転車の安全な乗り方と基本的な交通ルールを身に つけさせることにより、児童の交通事故防止を図る ことを目的とする。	児童の自転車についての安全意 識の向上	継続実施予定	この教室のみでの事業費は算 出不可
7	高齢者体験型自転車 教室の開催	豊橋警察署交 通課	豊橋市老人クラ ブ連合会、豊橋 市長寿介護課、 安全生活課、交 通安全協会豊橋 支部	平成 22 年度～	平成 18 年から 21 年度までは、「自転車月間」であ る 5 月中に競技会形式での自転車教室を開催してい たが、参加人数を増やすため、老人会のブロック毎 に自転車教室を開催することとした。	老人クラブ参加者の死亡事故の 発生はあるものの、交通教室に 参加していない。 (交通教室参加者からは死亡事 故者が出ていない)	交通教室未参加・不参加者が 重大事故(死亡または重大事 故)の当事者となっているこ とら、本教室開催を継続し て、より多くの高齢者を参加 させて交通事故防止を図る。	約 5 万円(交通安全協会より)
8	自転車安全安心アド バイザーの運用	豊橋警察署交 通課	愛知県自転車モ ーター商協同組 合豊橋支部	平成 23 年度～	自転車販売店の販売、修理等の業務を通じて、直接、 自転車利用者に対して交通安全情報の提供を行う啓 発活動を推進し、交通事故防止を図っている。	効果測定なし	継続して交通安全情報を提 供し、自転車購入者等への啓 発を実施する。	0
9	自転車指導啓発重点 地区・路線の設定	豊橋警察署交 通課	豊橋市内高等学 校交通安全委員 会、豊橋市安全 生活課	平成 23 年度 (平成 24 年 1 月) ～	各季の運動期間中や交通事故死ゼロの日等におい て、主要交差点において交通指導を実施しており、 悪質な交通違反については取締り活動も実施してい る。	平成 24 年上半期 駅前地区 2 件(前年対比-4 件) 《駅前、広小路通り～国道 259 号まで》 豊橋環状線 4 件(前年対比-1 件) 《東田交差点～上立合橋南交 差点まで》	登下校の時間帯や一般女性 の昼の買物の時間帯に発生 していることから、対象者に 合わせた時間帯と場所で自 転車指導を継続する。	0

自転車関連施策（3／5）

	施策名称	団体・所属 部署名	関係団体	実施年度	概要	効果・実績	今後の方向性	事業費
10	自転車安全安心モデル校の委嘱	豊橋警察署交通課	豊橋市教育委員会、豊橋市内高等学校交通安全委員会	平成20年度～	20年度～23年度は「自転車安全利用モデル校」として、本年度より自転車盗難防止対策の推進を含め「自転車安全安心モデル校」と名称を変更し、小学生1校、中学生1校、高校1校を署長名で委嘱し、自転車教室の開催などにより自転車の安全利用を図っている。	モデル校自体の効果測定は実施していない。	自転車事故多発地域や通学自転車の交通事故発生状況を勘案して継続していく	0
11	自転車放置対策推進事業	豊橋市土木管理課	センターパーキング豊橋連合体（指定管理者） 公益社団法人豊橋市シルバー人材センター 豊橋市放置自転車リサイクル会	平成5年度～	条例に基づき指定した放置規制区域内外において、道路上に放置された自転車や原動機付自転車に対し警告、注意、撤去、保管等を行い、自転車等の適正利用を推進するとともに放置を防止し、道路環境及び生活環境の向上を図る。 放置規制区域：①豊橋駅東口（約23ha）②豊橋駅西口（約15ha）③二川駅（約10ha）	平成23年度実績 警告 4,694台 注意 530台 撤去自転車 2,156台 撤去原付 58台	自転車施策における無料自転車置場（城海津、狭間公園、立花）の位置づけを明確にし、対策を進める。	平成24年度歳出予算 18,255千円 （土木管理課再任用職員人件費は含まない）
12	放置自転車等防止啓発事業（緊急雇用創出事業）	豊橋市土木管理課	株式会社ガード・リサーチ 三河事業本部 豊橋支社（平成22年度）	平成21年度 平成22年度	条例に基づき指定した放置規制区域内（①豊橋駅東口（約23ha）②豊橋駅西口（約15ha））において、道路上に放置された自転車や原動機付自転車に対し放置を防止するため、啓発活動、自転車等駐車場への誘導、啓発札の取付け、放置自転車等の整理、放置自転車等の実態調査を行った。	平成22年度実績 啓発品配布 19,968個 誘導 5,321台 啓発札 60,278台 整理 11,326台 実態調査 18回	特になし	平成22年度歳出 5,667,900円
13	自転車等駐車場管理運営事業	豊橋市土木管理課	センターパーキング豊橋連合体（指定管理者）	平成6年度～	豊橋駅の東口と西口、二川駅の南口で自転車等駐車場を管理運営し、道路交通の円滑化と自転車等の利用者の利便を図っている。	平成23年度実績（自転車の1日平均の延べ利用者数） 豊橋駅東口 2,545人 豊橋駅西口 895人 二川駅南口 387人	施設の適正な維持管理と一層のサービス向上に取り組む。	平成24年度 歳入予算 92,000千円 歳出予算 95,473千円
14	公共交通マップの作成	豊橋市都市交通課	石巻・下条地域交通推進委員会（平成22年度） 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会 公共交通利用促進ネットワーク	平成20年度～	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を表記。	配布による駐輪場の利用状況への影響は不明	今後も発行予定	平成23年度 136,500円 平成24年度 285,000円（予算）

自転車関連施策（4 / 5）

	施策名称	団体・所属部署名	関係団体	実施年度	概要	効果・実績	今後の方向性	事業費
15	大学連携 調査研究費 補助金	豊橋市政策企画課	豊橋技術科学大学	平成 23 年度 平成 24 年度	市内 3 大学が行っている研究のうち本市の福祉増進等に寄与すると考えられる研究を対象に補助金を交付している。 平成 23 年度に豊橋技術科学大学が、二輪社会（電動アシスト付き自転車や電動バイク）への移行による炭酸ガス排出削減量の評価、長期モニターによる通勤利用可能性等について検討した。平成 24 年度も引き続き研究を実施する。	研究成果が本市の住民福祉の増進や産業振興、政策の推進等に寄与される。	大学が行う研究の内容を精査し、本市に寄与と考えられる場合は、今後も大学連携調査研究費補助金を交付し研究を支援する。	平成 23 年度の研究事業費総額：3,364,032 円（うち市補助金 1,500,000 円） 平成 24 年度の研究事業費総額（見込み）：1,500,000 円（うち市補助金 750,000 円）
16	リサイクル工房事業	豊橋市業務課	—	平成 21 年度～	大きなごみのうち再生利用をすることが可能な家具等（自転車も含む）を修理し市民に利用していただくことで、ごみの再利用及びごみの減量についての意識啓発を図り、一層の 3R を進める。	平成 21 年度 55 台 平成 22 年度 40 台 平成 23 年度 40 台	継続	整備用の消耗品として少額
17	自転車道設置工事 （一般県道田原豊橋自転車道 豊橋市伊古部町地内）	愛知県東三河建設事務所道路整備課	—	平成 21 年度～ （完了年度未定）	田原豊橋自転車道（渥美サイクリングロード、L=1.38km）を設置する。	未供用のため、効果は発現していない。	渥美サイクリングロードのうち、未供用部分の整備を進める。（主に田原市内）	合計 未定 平成 21 年度 2,773 千円 平成 23 年度 29,166 千円 平成 24 年度予算 2,000 千円 平成 25 年度以降未定
18	自転車歩行者道設置工事 （県道豊橋停車場線 始め 豊橋市駅前大通 始め）	愛知県東三河建設事務所道路整備課	豊橋市	平成 21 年度～ 平成 24 年度	一般県道豊橋停車場線→内容未定 国道 23 号、国道 259 号、大山豊橋停車場線、豊橋港線→自転車歩行者道（既設）の中央に、白区画線（破線）を設置して、自転車と歩行者の視覚分離を行う。	交通量自転車通行帯における自転車の比率が高まった。（交通量調査による）	平成 24 年度に一般県道豊橋停車場線の工事を行う。	合計 48,865 千円 平成 21 年度 14,787 千円 平成 22 年度 0 千円 平成 23 年度 9,078 千円 平成 24 年度予算 25,000 千円
19	自転車通行環境整備・豊橋駅周辺地区	豊橋市道路建設課	国、愛知県、警察（県が主導しており、市は市道部分を施工しているのみである。そのため、市独自の施策ではなく、予算確保もしていない。	平成 20 年度～	自転車と歩行者の通行空間を物理的または視覚的に分離し安全快適な自転車道などの整備	県主導事業により不明	未定	本市、道路建設課、道路維持課にて修繕事業で対応しており不明

自転車関連施策（5 / 5）

	施策名称	団体・所属 部署名	関係団体	実施年度	概要	効果・実績	今後の方向性	事業費
20	自転車歩行者道設置 工事（一般県道小松 原小池線 豊橋市北 山町地内）	愛知県東三河 建設事務所道 路整備課	—	平成 24 年度	自転車歩行者道（既設）の中央に、白区画線（破線） を設置して、自転車と歩行者の視覚分離を行う。 L=840m	自転車と歩行者が交錯せずに、 安全に通行できると思われる。	なし	13,000 千円 （平成 24 年度 予算）
21	サイクルトレイン	豊橋鉄道株式 会社鉄道部運 輸営業課	—	平成 23 年 9 月～ （平成 22 年 4 月 試験実施）	渥美線の三河田原側車両に自転車持込みスペースを 設定し、毎週土曜・日曜・休日の全列車・全区間乗 車可能、普通旅客運賃の他 100 円（自転車積載券） が必要。但し 1 列車につき 10 台まで。	観光やレジャーなど趣味で自転 車を楽しむ旅客と生活利用で自 転車を使用する旅客の利用促進 に繋がった。	知名度の向上、新規需要の開 拓等利用者の拡大に向けた 取組 地域及び行政との連携	—
22	—	豊橋市産業部 競輪事務所	—	—	主事業として競輪競技の振興、浸透、活性化に取り 組んでおり、それ以外として豊橋市自転車競技大会 など自転車文化の醸造に寄与すると判断される場合 に競技場（バンク）を貸し出ししています。詳細は 別紙参照ください ※事前申請、審査を経て貸し出しとなりどなたにで も貸出が可能という形にはしていません。	—	—	—
参 考	国道 19 号 桜通自転車道 整備事業	中部地方整備 局名古屋国道 事務所交通対 策課	国道 19 号桜通 自転車利用協議 会 委員：地域代表 者、学識経験者、 経済団体、障害 者団体、道路管 理者、警察等	平成 20 年度着手	整備予定区間約 2.0km（日銀前交差点～小川交差点 間）のうち、平成 23 年 6 月 25 日に桜通日銀前交差 点～桜通大津交差点間の約 0.8km について自転車道 として、自転車通行空間を整備	別添参照	未整備区間約 1.2km につい て、整備方針を検討し、自転 車通行空間の整備を実施す る予定	工事費 約 240 百万円

自転車関連計画（1 / 2）

	計画名称	団体・所属 部署名	策定主体	策定期期	計画期間	自転車に関する記載内容	改訂など、今後の予定
1	第5次豊橋市総合計画	豊橋市政策企画課	豊橋市（※市民会議で提言あり）	平成23年3月	平成23～32年度 ※基本構想 平成23～32年度 ※基本計画 平成23～27年度 ※実施計画 3年間（毎年見直しを行う）	第5次豊橋市総合計画において自転車を利用しやすい環境づくりを推進する。 ○戦略計画：コミュニティサイクル推進プロジェクト 暮らしの中での過度な自動車利用を抑制するため、身近な交通手段として自転車利用を促進する。 ○分野別計画：自転車利用の促進 市民の意識啓発に努めるとともに、サイクル&ライドなど利用促進の仕組みづくりに取り組む。	基本構想： 策定後10年で改訂 基本計画： 策定後5年で改訂 実施計画： 毎年見直し改訂
2	豊橋市交通安全計画	豊橋市安全生活課	豊橋市（第9次交通安全計画策定会議）	平成24年3月	平成27年度まで	自転車利用環境の総合的整備、自転車の安全性の確保	未定
3	第2次 豊橋市環境基本計画	豊橋市環境政策課	豊橋市環境政策課	平成23年3月	平成23～32年度	エコモビリティライフの推進を図るため、自転車を利用しやすい環境づくりを推進する。具体的な取り組みとして、エコ通勤の推進、自転車の利用促進、電動アシスト自転車の普及促進等を謳っており、また、取り組みの目標として電動アシスト自転車普及台数を平成32年度末までに平成22年12月末時点と比較して増加することを謳っている。	平成27年度改訂予定
4	豊橋市都市計画マスタープラン	豊橋市都市計画課	豊橋市都市計画課	平成23年3月	目標年次として平成32年	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランにおいて、都市ビジョンとして目標像の一番目に「歩いて暮らせるまち」をあげている。このような「歩いて暮らせるまち」において、身近な移動手段として自転車を位置づけている。 自動車以外の交通手段による通勤交通を転換イメージとして、サイクル&ライドをあげている。 自転車等の安全に配慮した道路整備をあげている。 	平成32年ごろ
5	豊橋市都市交通ビジョン	豊橋市都市交通課	豊橋市役所都市計画課	平成16年3月	平成16～36年度	<ul style="list-style-type: none"> 自動車優先から人優先となる社会を構築するための施策として、利用しやすい自転車環境の整備を位置づけている。 中心市街地活性化という側面から、回遊性向上のためのレンタサイクルの導入などを位置づけている。 その他、身近で環境にやさしい交通手段として自転車の普及促進を位置づけ。 	未定
6	都市交通マスタープラン	豊橋市都市交通課	豊橋市都市計画課（豊橋市都市環境整備委員会）	平成18年3月	平成18～27年度	<ul style="list-style-type: none"> 過度に自動車に依存した社会からの転換を促すための交通手段の一つとして、走行・駐輪環境の構築を進め、普及啓発を進める。 「生活に魅力を感じる交通改善づくり」を目標に徒歩・自転車のための道路整備を、「環境に配慮した交通づくり」を目標にサイクル&ライドの推進などを位置づけ。 	平成27年に見直しの予定

自転車関連計画（2 / 2）

	計画名称	団体・所属 部署名	策定主体	策定時期	計画期間	自転車に関する記載内容	改訂など、今後の予定
7	豊橋市地域公共交通 活性化方策	豊橋市都市 交通課	豊橋市役所都市計画課	平成 24 年 3 月	平成 27 年度まで	地域公共交通のための施策の一つとして、サイクル&ライドの推進を位置づ け。	平成 27 年度に改訂の予定
8	田原豊橋自転車道（渥 美サイクリングロー ド）全体計画	愛知県東三 河建設事務 所道路整備 課	愛知県	策定時期不明 （平成 23 年度 修正）	期間は定めていな い	田原豊橋自転車道（渥美サイクリングロード）のルート検討やコスト低減検討。	未定
9	豊橋駅周辺自転車通 行環境整備モデル事 業	愛知県東三 河建設事務 所 道路整 備課	愛知県、 豊橋市、 愛知県警察本部	平成 21 年度	平成 21～22 年度	県道豊橋停車場線 →自転車道と歩道と分離して、自転車と歩行者の錯綜を低減する。 県道豊橋停車場線以外の 32 路線 →自転車歩行者道（既設）の中央に、白区画線（破線）を設置して、 自転車と歩行者の視覚分離を行う。	県道豊橋停車場線につい て、地元と調整して修正予 定。
参 考	国道 302 号内側の直 轄国道自転車ネッ トワーク計画	国道 302 号 内側の直轄 国道自転車 ネットワー ク計画検討 委員会 委員：学識 経験者、道 路利用者団 体、道路管 理者、警察 等	中部地方整備局名古屋 国道事務所	平成 24 年度予 定	未定	国道 302 号内側の直轄国道について自転車通行空間のネットワーク計画を検討	H24. 8 に第 1 回委員会を 開催 今後、H24. 11 頃（第 2 回）、H25. 2 頃（第 3 回）の 委員会を開催予定